



# くれたけだより

秋号

# 呉竹



発行所  
呉竹会  
〒160-0008  
東京都新宿区四谷三栄町16-12  
東京医療専門学校内  
TEL 03-3341-4043  
<https://www.kuretake.ac.jp>



## 不安定な世の中

呉竹会 会長 牛込 信喜

だいぶ涼しくなってきた、今日この頃ですが、呉竹会の皆様におかれましては、如何お過ごしでしょうか？

日本は現在、コロナウイルス流行の第七波の猛威に見舞われており、今後の見通しが付かない状況です。一方、世界では、ウクライナに対するロシアの侵攻により、世界的な食糧不足や燃料の高騰が発生し、政情不安な状態となっております。また、その不安から、世界各地で、小さな争いやテロが発生しております。更に、地球温暖化の影響と思われる異常気象が、世界各地で起きています。例としては、ヨーロッパでは干ばつが深刻で、川の水位が下がっており、三千年前の古代遺跡が顔を出しました。パキスタンでは、ヒマラヤの氷河が異常に溶け、洪水となり、国土の三割以上が水没してしまいました。これらを鑑みると、世界の社会状況及び自然環境が、不安定で大変な状況になってきていると思われまします。私たちは、医療の一端を担っている者として、このような状況の世の中に対し、どのように携わっていくのがよいか、少しでも良い方向に持っていくか、常に考えて、行動していくべきでしょう。

私たちがすぐに取り組めることを、ちよつと思案してみました。まずは、コロナ（感染症）

し、昭和二十二年には、戦時中に在学していた本科生を、無事に卒業させることができた。昭和二十三年には、柔道整復科、昭和二十四年九月には、厚生大臣より養成施設として、東京高等鍼灸学校が認可され、昭和二十九年には、厚生大臣より、柔道整復師養成施設として、認可がおりたそうです。また、昭和三十一年十月に、東京都知事より学校法人呉竹学園として認可がおりました。現在、呉竹学園・呉竹メディカルクリニック・呉竹学園東洋医学臨床研究所・ベテル南新宿診療所を開設して、四谷本部校舎の建て替えを経て、新しいスタートを切ろうとしています。この百年続いたことは、ひとえに呉竹会の皆様のおかげです。呉竹会の皆様には、是非とも四谷新校舎が完成した暁には、見学に来ていただきたいと思っております。



## 学校法人呉竹学園創立100周年記念事業募金について

学校法人呉竹学園創立100周年記念事業募金も皆様のご協力をおもちまして、多くの卒業生の方より賛同を得ることができました。この場をおもちまして厚く御礼を申し上げます。

記念事業の一環として、現在四谷本部校舎の一部建て替え工事を行っております。既に旧本館・4号館・7号館は解体が完了し、2022年8月時点で地下の掘削工事が進められています。新校舎の建築状況や、その他記念事業につきましても、くれたけだよりや学校HPにてお知らせしてまいります。

呉竹会会員の皆様方には更なるご理解とご協力を賜れればと思ひ、今年度の春号に振込用紙をお送りしております。「100周年記念事業募金」に関するお問い合わせがございましたら、右記の「法人事務局 寄付金募集係」までお問い合わせください。呉竹会会員の皆様方のご理解・ご協力を賜れますよう重ねてお願い申し上げます。

【お問い合わせ先】  
学校法人呉竹学園 法人事務局 寄付金募集係  
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-9-5  
TEL 03-5362-3776



# 呉竹会総会・講演会を開催

二〇二二年五月二十九日(日)に「呉竹会総会・講演会」が執り行われました。前年に続き、

依然新型コロナウイルス感染症拡大が収まらない中で、オンラインによる開催となりました。副

会長の金谷先生より開会宣言があり、牛込信喜会長のあいさつ、東京医療専門学校校長からの祝辞があり、次に四月に開催された理事会で承認された議題に沿って呉竹会事務局及び、経理部長である倉持栄一先生より報告を行い、全て承認されました。



最後に副会長の船水隆広先生により閉会宣言があり総会は終了。  
総会後は講演会として、本校姉妹校を卒業された花前裕太先生に、独自のトレーニング方法についてのご講演をいただき、二〇二二年の総会・講演会は無事終了しました。

2021年度 事業報告	
1. 会員名簿の整備	
2. 呉竹会基金の募集	
3. 全国組織網の拡充	
(イ) 未組織支部の拡充	
(ロ) 発足支部会の活動援助	(10支部)
4. 「くれたけだより」の発行	
2021年5月 第51号 9,000部	
2021年10月 第52号 9,000部	
5. 呉竹祭の開催 (中止)	
6. 呉竹医学会への協賛	
7. 鍼灸マッサージ教員養成科	卒業論文の贈呈
	2022年3月
8. 2021年度 東京医療専門学校	卒業式 呉竹会賞 表彰
	2022年3月17日
	鍼灸マッサージ科 2名
	鍼灸科 2名
	柔道整復科 3名
	鍼灸マッサージ教員養成科 1名

2022年度 事業計画	
1. 会員名簿の整備	
2. 呉竹会基金の募集	
3. 全国組織網の拡充	
(イ) 未組織支部の拡充	
(ロ) 発足支部会の活動援助	(10支部)
4. 「くれたけだより」の発行	
2022年5月 第53号 8,500部	
2022年10月 第54号 8,500部	
5. 呉竹医学会への協賛	
6. 鍼灸マッサージ教員養成科	卒業論文の贈呈
	2023年3月
7. 2022年度 東京医療専門学校	卒業式 呉竹会賞 表彰
	2023年3月
	鍼灸マッサージ科
	鍼灸科
	柔道整復科
	鍼灸マッサージ教員養成科

## 令和3年度 決算報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

## 令和4年度 予算

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

収入の部 (単位:円)

費目	令和3年度予算	増減(決算-予算)	令和3年度決算	備考
1. 前期繰越金	5,495,137	0	5,495,137	
2. 100周年記念準備金取崩	0	0	0	
3. 会費	4,680,000	0	4,680,000	新会員@30,000×156名
4. 預金利子	1,000	-895	105	
5. 補助金	0	0	0	
6. 雑収入	800,000	213,060	1,013,060	
収入合計	10,976,137	212,165	11,188,302	

収入の部 (単位:円)

費目	令和3年度決算	令和4年度予算	備考
1. 前期繰越金	5,495,137	5,399,333	
2. 100周年記念準備金取崩	0	0	
3. 会費	4,680,000	4,530,000	新会員@30,000×151名
4. 預金利子	105	1,000	
5. 補助金	0	500,000	
6. 雑収入	1,013,060	800,000	
収入合計	11,188,302	11,230,333	

支出の部

費目	令和3年度予算	増減(決算-予算)	令和3年度決算	備考
1. 運営費	3,300,000	-136,681	3,163,319	
(1)人件費	0	0	0	
(2)一般経費	3,300,000	-136,681	3,163,319	
什器備品費	0	0	0	
機器保全費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
通信費	2,100,000	285,839	2,385,839	くれたけだより他送料
交通費	400,000	-400,000	0	役員会他交通費
印刷費	800,000	-22,520	777,480	くれたけだより他印刷費
会議費	0	0	0	
雑費	0	0	0	
2. 活動費	1,560,000	65,650	1,625,650	
(1)総会費	270,000	-270,000	0	(中止)
(2)理事会費	50,000	-50,000	0	(中止)
(3)呉竹祭費	0	0	0	(中止)
(4)表彰費	60,000	-20,000	40,000	卒業式記念品代
(5)学校行事協賛費	60,000	-60,000	0	(中止)
(6)慶弔費	100,000	-100,000	0	
(7)広報費	0	0	0	
(8)学術研究費	0	0	0	
(9)支部補助費	700,000	-147,850	552,150	支部会事務費
(10)支部発足準備費	0	0	0	
(11)学内同好会補助費	20,000	-20,000	0	同好会補助
(12)学内研究等補助費	300,000	0	300,000	
(13)コロナ対策助成金	0	733,500	733,500	緊急補正
3. 基金組入額	0	0	0	
4. 特別会計組入額	1,000,000	0	1,000,000	
(1)運営活動準備	0	0	0	
(2)100周年記念準備	1,000,000	0	1,000,000	期末残高 1,000,000円
予備費/次期繰越金	5,116,137	283,196	5,399,333	
支出合計	10,976,137	212,165	11,188,302	

支出の部

費目	令和3年度決算	令和4年度予算	備考
1. 運営費	3,163,319	3,630,000	
(1)人件費	0	0	
(2)一般経費	3,163,319	3,630,000	
什器備品費	0	0	
機器保全費	0	0	複写機リース料、パフォーマンスチャージ等
消耗品費	0	0	
通信費	2,385,839	2,400,000	くれたけだより
交通費	0	400,000	役員会他交通費
印刷費	777,480	800,000	くれたけだより
会議費	0	30,000	
雑費	0	0	
2. 活動費	1,625,650	2,200,000	
(1)総会費	0	100,000	特別講演費用
(2)理事会費	0	0	
(3)呉竹祭費	0	0	
(4)表彰費	40,000	60,000	功労者表彰
(5)学校行事協賛費	0	60,000	柔道大会
(6)慶弔費	0	100,000	
(7)広報費	0	0	
(8)学術研究費	0	0	
(9)支部補助費	552,150	700,000	支部会事務費
(10)支部発足準備費	0	0	
(11)学内同好会補助費	0	80,000	4同好会
(12)学内研究等補助費	300,000	300,000	
(13)コロナ対策助成金	733,500	800,000	
3. 基金組入額	0	0	
4. 特別会計組入額	1,000,000	1,000,000	
(1)運営活動準備	0	0	期末残高 0円
(2)100周年記念準備	1,000,000	1,000,000	期末残高 200万円
予備費/次期繰越金	5,399,333	4,400,333	
支出合計	11,188,302	11,230,333	

上記のとおり報告いたします。

2022年3月31日

会長 牛込 信喜 ㊦  
副会長 金谷 義孝 ㊦

この収支決算は監査の結果適正であることを認めます。

2022年5月11日

監事 内山 真喜 ㊦  
長尾 雅人 ㊦

## 基金受入状況

(昭和57年4月1日～令和4年3月31日)

(単位:円)

年度別	会員よりの受入		呉竹会より	受入合計	利息組入	取崩 呉竹学園100周年記念 事業基金への寄付金	基金合計
	人数	金額					
前年度繰越金額	996	12,498,647	13,514,626	26,013,273	10,361,089	△5,000,000	31,374,362
令和3年度	0	0	0	0	544	0	0
計	996	12,498,647	13,514,626	26,013,273	10,361,554	△5,000,000	31,374,906

# 和倉ユース夏季インターン研修 実施報告

二〇二二年八月六日から八月十日にかけて、石川県七尾市で行われた第三十五回和倉ユース大会へ、スーパートレーナーコースの学生三人と、教職員三人の計六人（教職員二人は前後半で交代）で参加しました。

本大会は、高校サッカーの強豪校やJリーグのユースチームが一堂に会するユース年代最大級のサッカー大会の一つで、総チーム数は四十八チーム、参加者が約千人の大規模な大会です。

今回は株式会社The Stadium（以下 Stadium）の紹介により学校としてケアブースを設置し、スーパートレーナーコース受講生の中から希望者を募り、四泊五日のインターン研修となりました。

具体的には、ケアブースを訪れる選手たちに試合前・試合後のストレッチケアの対応、足関節の緩みや、肉離れ再発防止のためのテーピングを使用した固定等を Stadium の先生方の指

導のもと行いました。三人共に初めてのインターン研修のため、初日は不安そうなお面持ちで対応していましたが、一日に三千〜四千八人程の選手がケアブースを訪れ施術を行っていく中で、徐々に自信をつけ、後半には選手へ声掛けをしてコンディショニングチェックをするなど、自ら考えて対応できるようになりました。五日間帯同いただいた Stadium の山田晃広先生からも、最終日の締めくくりに言葉として、学生たちが選手への期待に応えようと懸命に対応していた点を称賛し、また今後はより積極的にインターン研修に参加し自分だけの経験を多く積んでほしいとお話いただきました。

インターン研修参加後、三人の学生にはアンケート

を取らせていただきました。三人共に参加については「大変満足」としたうえで、貴重な経験ができたこと、授業で学んでいた手技やテーピングが活かされたことなど、感想をいただきました。

今回のこの貴重な経験を糧に、これからステップアップしてもらえればと思います。最後になりますが、本大会をご紹介及び、五日間帯同いただいた Stadium の先生方には改めてこの場を借りて御礼申し上げます。



## 和倉ユース大会 参加学生感想

初めてのインターンでしたが、授業でやっていることをしっかり発揮でき、授業では学べないこともたくさん学べたので、とてもよい経験だったと感じています。

（藤井 健斗）

初めてインターンに参加し、授業だけでは得ることのできない貴重な経験をさせていただきました。選手に最善のケアするために学んだ知識と技術そして現場での経験が重要だと痛感しました。そして今回選手とのコミュニケーションを通して何

ができるかを考え、実践する楽しさと自信を得ることができました。

（福井比那多）

現場での選手サポートは今回が初めてでしたが、選手からテーピングが良かったなどの声が聞けてとても自信につながりました。また新たな知識もたくさん増え課題も多く見つかったので、今回の現場だけで終わらず次の現場でステップアップできるように頑張りたいと思いました。

（松本 響）

# 出張授業報告

## 羽村高校

二〇二二年七月二十五日、都立羽村高校の男子バスケットボール部から依頼を受けて、出張授業に行きました。羽村高校からは授業内容にストレッチと体幹トレーニングをご指定いただいたため、女子ラクロスチームのネオ（全国大会三連覇中）でトレーナーを務め、アメフトのトレーナーもするなどスポーツ界で活動する本校柔整科専任教員で東洋医学臨床研究所の紀平晃功先生が担当しました。

ストレッチについては、オーストラリアの新兵千人以上を対象とした介入研究でストレッチ実施群が非実施群と比べてケガが少なくならず、世界ではストレッチのケガ予防効果は低いと考えられていることを紹介しました。もちろん柔軟性の改善には有効ですが、一方で長時間のストレッチ直後には筋力や筋パワーが減少して負の影響を受け



ス（研究成果）を用いた効率的な方法が取られています。本校では高校や大学への出張授業を継続的に行っています。専門

性の高い教員が分かりやすく面白い授業を丁寧に行います。近隣でご希望がありましたら、ぜひご連絡ください。



## 船橋北高校

二〇二二年六月二十七日（月）、株式会社Tigeの神保裕司先生よりお声がけいただき、千葉県立船橋北高校へ全学年を対象とした出張授業に行きました。

参加してくれた学生さんは野球部、ソフトボール部、サッカー部など全員が部活動に積極的に参加をしている学生さんでした。

接骨院に通っていた経験を持つ学生さんが多く、その学生さんたちにより深く柔道整復師の資格や業界について認知してもらい、数ある進路の一つとして柔道整復師を考えてもらいたいとの思いを込めて開催されたこの出張授業は、神保先生に資格や業界について、さらには実際にどのような治療・業務を行っているかを、説明していただくことからスタートしました。熱意に満ちた神保先生の説明に、三年生だけではなく今後

自身の進路を本格的に考えていくこととなる一、二年生も熱心に耳を傾けていました。このような活動で将来、柔道整復師を目指す高校生が一人でも多くなってくれたら非常に嬉しいと思う気持ちと共に、より良い人材の育成を目指す株式会社Tigeの努力に敬服しました。

神保先生のお話の後は、参加者が全員部活動に参加している学生さんということもあり、私から体幹トレーニングについてレクチャーをさせていただきました。体幹トレーニングでの定番種目であるプランクを中心に体験してもらい、ボディを組んだ友達に正しいフォームチェックもお願いしました。実際に開始してみるとさすが運動部の学生さん、非常にきれいなフォームをキープできていました。それに比べてモで数秒間しかトレーニングを行わなかったはずの私のインナーマッスル



は、翌日見事にトレーニングの効果を発揮（？）しバキバキの筋肉痛。日ごろから身体に負荷を全くかけていない自身の不甲斐なさを痛感しました。

最後に建石事務長より学校説明をしていただき、しっかりと本校の魅力をアピールすることができました。終了後、参加者に声をかけると、サッカー部に所属する三年生からオープンキャンパスに参加をしたいとい

う希望があり、出張授業を通して、仕事の魅力を伝えることができたかなと嬉しく思いました。

今後もこのような活動を通して将来の柔道整復師が一人でも増えてくれたらと思います。神保先生、船橋北高校の学生さん、教職員の皆さん、ありがとうございました。

（専任教員・池電 耕太）



### よい治療は よい鍼で

はりの専門メーカー【日本製鍼灸鍼】  
毎月お得な”割引キャンペーン”を  
実施中!!  
詳しくはホームページをご覧ください。  
<https://www.needlemaeda.com>



ご注文フリーダイヤル  
0120-141-828



鍼灸鍼、ディスポ鍼、鍼灸用具の製造販売  
**株式会社 前田豊吉商店**  
〒167-0052 東京都杉並区南荻窪 1-22-15  
電話 03-3332-7634 FAX 03-3332-8117  
メールアドレス harimaeda@pop01.odn.ne.jp

# 企業説明会による キャリア支援

二〇二二年六月九日(木)、三年生を対象とした企業説明会を実施しました。この時期に行うことで、学生が七月〜八月の就職活動を円滑に、そして積極的に進めるよう促す狙いがあります。

説明会は四谷校舎において鍼灸科、鍼灸マッサージ科の三年生を対象に実施したのですが、従来と違い、今回は学生の自由参加ではなく授業扱いとしたため、参加者は従来の二倍弱、約百名が参加しました。事前に八十社以上の企業から参加希望がありました。新型コロナウイルス感染症に対する配慮から二十七社に絞り、説明ブースを四教室に分けて設置し、授業らしく「企業来校型現場学習会」としました。

事前アンケートでの学生の希望を含めて、一人あたり四社程度を、割り当てられたタイムスケジュール(二十五分説明+五分移動)に沿って、整然と回ることができました。学生の感想としては、「あらかじめ回る企業が決まっていたので、当日にどの企業に行くか悩むことがなくて良かった」「各ブースの人数が決められているので、安心して話を聞けた」という意見がある一方、「回る企業が希望と違った」という意見もありました。しかしそれこそが授業なのです。学生には言います。卒業したら、あらゆる分野の治療院を自由に訪問することなどはできません。今こそ学生の特権を生かして、治療院、病院、訪問マッサージ、スポーツトレーナー、美容、介護施設など、様々な分野の治療院・企業の説明を聞き、見学させていただくことが可能なのです。

また、六月二十四日(金)は代々木校舎において、柔道整復科の三年生を対象に同様の「臨床実習施設企業説明会」を実施しました。本校では三層連携活動を展開しており、企業と学校が連携した教育と医療人材の発掘を模索しています。その中で、臨床実習を受け入れてくださる治療院・企業は、①臨床教育におけるパートナーであり、②学生にとって将来の就職先であり、③患者として治療を受けた高校生が治療家の道を目指すきっかけとなる場でもあります。この観点から、臨床実習指導先企業を優先して約二十八社にお越しいただきました。

柔道整復師が生かされる現場である、接骨院、整形外科、介護施設などの先生方から、職場としての現状と展望、自分が成長できる場であるか、働きやすい労働条件なのか、色々な視点から説明を聞き、自分が企業に選ばれるためには、何をすべきかを感じてもらえたと思います。これからも、医療人として優秀な人材の発掘、実践力のあふれる臨床教育、自分にあつた職場での就業の三層において、学校と企業が手を携えて業界を発展させることができますよう、幅広い視野でキャリア支援をしていきたいと考えています。

(事務長 建石 泰三)



四谷校舎



代々木校舎



## Career Map

### 求人検索システム 「Career Map」のお知らせ



本学園は、専門職の就活プラットフォーム「Career Map」を導入しております。卒業生・在校生の方はスマートフォンやタブレット、パソコンで求人票を検索・閲覧することができます。呉竹学園専用の求人を掲載・閲覧することができますので、ぜひご活用ください。

便利なポイント

- ・履歴書の作成が可能
- ・WEB上で求人へ直接応募できてスピーディー
- ・個人プロフィールを公開することで企業・治療院からオファーを受けることが可能
- ・卒業生の「職場レポート」を閲覧できる

登録は上記二次元コードからアクセスしてください。

女性限定のイベント

# WOMAN'S LABO



鍼灸科・鍼灸マツサージ科では、女性の方に「はりきゅう」と「マツサージ」を身近に感じていただくイベント「WOMAN'S LABO」を開催しました。

女性教員2名と女性参加者として和気あいあいとした雰囲気の中で行いました。

第一回六月三十日(木)は「お灸」、第二回七月二十八日(木)は「オイルマツサージ」、第三回は九月八日(木)「美容はり」をテーマにセルフケアの方法をお伝えしました。三回シリーズでしたので三回全て参加して下さる方もいらっしゃいました。

第一回は湿邪による「むくみ」をテーマにお灸のセルフケア、特に女性は「むくみ」のお悩みが多いので東洋医学の「湿邪」の考え方と「むくみ」に効果のあるツボを、教員が参加者お一人お一人のツボの位置を触って「ここですよ」「イタ気持ちいいところ」とお伝えしました。お灸の前と後の変化を参加者



に確認していただき、これならば簡単にできるとの声が出ました。第二回も「むくみ」をテーマに「オイルマツサージ」を用いた「セルフケア」を行いました。むくみの原因やあん摩・マツサージ指圧の違いをお伝えし、教員が触り方や動かし方の見本を見せながら自身の足のセルフ

ケアを行ってもらいました。「むくみ」が取れてほっそりしたご自分の足をみて参加者からは驚きの声が上がっていました。第三回は「美容はり」、顔面部の美容に効果のあるツボのお話からスタートしました。そして東洋医学の「美容」とは「健康美」であること、簡単なシール状の鍼を用いた「セルフケア」をお伝えしました。コロナ禍のため、マスクは外さずに効果のある頸周り、眼の周り、上肢のツボをご紹介しました。三回ともリラックスした雰囲気の中で密なコミュニケーションがとれたため、参加者からも色々な質問があり、通常のオープンキャンパスとは一味違うイベントとなりました。参加者の笑顔があふれ、教員も元氣になりました。

来年は更にバージョンアップした「WOMAN'S LABO」を開催予定です。  
(専任教員：深山 千歳)

## クオカード配布報告

昨年同様に、今年も呉竹会よりコロナ禍でアルバイト等制限され、生活に苦慮している学生の一助になればという思いで、本校学生全員にクオカード 3,000円を配布致しましたので、こちらにてご報告させていただきます。

## 同好会 実施報告

### お灸部

JMC同好会通称「お灸部」について紹介します。新型コロナウイルス感染症による公衆衛生上の問題で一年間活動を休止していましたが、学生からの強い希望があり、昨年より学年を分けて最小限の人数にて安全に開催をしています。



お灸技術の向上と日本のお灸文化についての理解を深める目的で、原則として第二・四・六曜日の放課後午後一時三十分～三時で活動しています。

みんな仲良くアットホームな雰囲気、初めて見る灸法に接すると素直に驚き楽しんで活動しています。今年度の活動では、棒灸、押灸、紫雲膏灸、隔物灸(しょうが灸、にんにく灸、塩灸)

みぞ灸など)を取り扱いました。棒灸や隔物灸は、温度刺激がマイルドで持続的なので心地よいのですが、実は灸あたりを起しやすいためということも学びました。以前は、新潟県にあるモグサ工場に見学に行き、日本で発展したモグサ製造技術の繊細さに触れて感銘を受ける機会もありました。

一口にお灸と言っても多彩な灸法があり、温度特性も様々です。これらの温度刺激を駆使することで、実は身体の様々な病態へのアプローチが可能となります。



専任教員(同好会顧問)・・・三村 直巳

## フットサル同好会

教員養成科で唯一の同好会、フットサル同好会を紹介します。顧問は、教員養成科講師でサッカー経験者の近藤常正先生で、代々木のフットサルコートにて月に一度活動しています。近藤先生には毎週木曜日に午前午後は附属施設所の臨床実習をご担当いただいております。



フットサル同好会の始まりは二〇一二年。教員養成科の三十期生(現在の一年生は四十期生)が中心となり、学生同士の親睦を深める目的で月に二～三回の活動を中心に、夏休みには新潟県の湯沢や千葉県の富津で合宿葛西臨海公園でB・B・Qを行っていました。

この同好会では、二年生の交流、OB(卒業生)との繋がりや、これからの人生に何か役に立てることがあれば、という近藤先生の考えのもと続いている同好会でもあります。学生の就職においてもOBに気軽に相談できる環境を作っておきたいなど、これからは積極的に活動を行い、教員養成科の伝統として繋いでいってほしいです。  
(講師：近藤 常正)  
専任教員：大島三千恵

業生)との繋がりを何より大切にしています。ここ三年は東京オリンピックや新型コロナウイルス感染症の影響で月に一回程度の活動に減ってしまっていますが、今年度は一年生がたくさん加入し、現在は約二十名での活動となっております。フットサルを楽しむことはもちろん、勉強で忙しい学生の運動不足の解消、ストレス発散、同好会運営の勉強、仲間への思いやりなど、これからの人生に何か役に立てることがあれば、という近藤先生の考えのもと続いている同好会でもあります。学生の就職においてもOBに気軽に相談できる環境を作っておきたいなど、これからは積極的に活動を行い、教員養成科の伝統として繋いでいってほしいです。  
(講師：近藤 常正)  
専任教員：大島三千恵

# 第2回上海中医薬大学 オンライン中医セミナー 開催報告



昨年好評をいただいた上海中医薬大学オンライン中医セミナーを、今年も二〇二二年八月一日～八月三日にわたり呉竹学園三校（東京医療専門学校・呉竹鍼灸柔整専門学校・呉竹医療専門学校）にて合同開催しました。まだまだ続く新型コロナウイルス感染症の影響で、一時はオンラインセミナーの実施も危ぶまれましたが、上海中医薬大学の先生方のご尽力のお陰で、今年は新たな病院施設の見学に加え、女性領域、推拿の応用実技、スポーツ疾患に対する針灸治療、中医診断学（舌診・弁証）など、計七講座からの募集となり、総勢百十六名の学生の皆さまにお申し込みいただきました。



岳陽医院（病院）の小児推拿科の中継では、日本ではあまり見かけることのない子どもに対して推拿技術を用いた治療風景、また鍼灸科の診察中継も担当医師に直接通訳を介して質問をしながら見学ができ、実際の医療現場での中医学の浸透を感じることができました。

新たな推拿実技授業では、習った手技を画面を通して先生に確認していただく場面もあり、本学園の学生さん方も積極的に画面を開示し、短い時間ですが修得に努めていました。

各講座の授業の最後には、「来年は上海で会いましょう！」と先生方よりお言葉をいただき、参加者の学生さん「ありがとーございましたー！感謝！」と笑顔で終えました。また安心して現地まで学べる日が訪れることを願います。

（東京医療専門学校 事務 由井 孝枝）

## 四谷図書室からご報告とお願い

本紙面におきまして、皆様に雑誌の欠号分の寄贈をお願いしておりました。この度、『中医臨床』と『伝統鍼灸』の欠号分のご寄贈をいただきまして、全号が整い製本から戻りましたのでご報告いたします。

ご寄贈いただきました本校H先生、養成科1期A先生、本当にありがとうございました。100周年に向け今後も収集をしてまいりますので、どうぞお願い致します。

なお、個人的になりますが、雑誌の欠号収集を始めて8年目で悲願の初コンプリート！しかも2雑誌！うれしすぎて、寄贈の欠号分を確認する手が震えました。

寄贈とは別のお願いですが、四谷の図書室に卒業生が著作した書籍を集めた本棚を新設しようと考えております。

目的は、在校生に卒業生の活躍を書籍から伝えることと考えておりますので、プロフィール等を開示でき、著作の本を寄贈して頂ける卒業生の方は図書係までご連絡いただければ幸いです。

（収集係 棚辺 鈞太）



日本経絡学会誌 No. 1～33  
 伝統鍼灸 No. 34～99  
 中医臨床 Vol. 1～42

SEIRIN

Salli MultiAdjuster  
 新しいレベルの人間工学的な治療姿勢

SEIRIN

2022/7 メディマン総合カタログ Vol.12 発行 ご請求ください。

株式会社 新時代・新医療へのパートナー  
**タカチホメディカル株式会社**  
 〒182-0036 東京都調布市飛田給1-45-4 TEL: 042-498-1911 FAX: 042-480-6361  
<https://www.takachiho-medical.co.jp/> E-mail: medimann@takachiho-medical.co.jp

求人サイト 医道の日本 Jobサーチ

鍼灸師・あま指師・柔道整復師に特化した求人サイト「Jobサーチ」

- 多数の国家資格者が会員登録
- 資格名での求人Web検索上位表示
- 追加費用のかからない掲載課金型
- 最短で約1営業日で掲載スタート
- お好みの専門分野の求人特集に掲載

株式会社 医道の日本社  
 〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-105  
 TEL.046-865-2161 FAX.046-865-2707  
<https://www.ido-jobsearch.com/>

